

## 連結流動性リスクに関する事項

本邦では平成27年3月末より、バーゼルⅢの流動性規制である「流動性カバレッジ比率(以下、「LCR(Liquidity Coverage Ratio)」という)」が導入されております。当社は国際統一基準を適用のうえ、「銀行法第52条の25の規定に基づき、銀行持株会社が銀行持株会社及びその子会社等の経営の健全性を判断するための基準として定める流動性に係る健全性を判断するための基準であって、銀行の経営の健全性の判断のために参考となるべきもの」(平成26年金融庁告示第62号。以下、「流動性カバレッジ比率告示」という)に定められた算式に則り、当社連結ベースについて算出しております。また、「銀行法施行規則第19条の2第1項第5号ホ等の規定に基づき、流動性に係る経営の健全性の状況について金融庁長官が別に定める事項」(平成27年金融庁告示第7号)に則り、流動性リスク管理及びLCRについて開示しております。

### ■連結流動性リスク管理に係る開示事項

#### 1. 流動性に係るリスク管理の方針及び手続の概要に関する事項

当社では、市場取引を行う業務部門から独立したリスク統括部が流動性リスクを一元管理する体制を構築しております。同部は、資金ギャップ計測やストレステスト結果等からリスク状況をモニタリングするとともに、運用調達構造の安定性を確保すべくリスクアパタイト指標を設置・管理し、定期的に経営会議及び取締役会等に報告を行っております。また、当社が定める「グループ全体のリスク管理の基本方針」を踏まえ、流動性リスク管理の基本方針、リスク枠等の重要な事項については、経営会議で決定のうえ、取締役会の承認を得る体制としております。

#### 2. 流動性に係るリスク管理上の指標及びその他流動性に係るリスク管理に関する事項

##### (1) リスクアパタイト指標

取ろうとするリスクの水準等を定量的に表した指標(LCR等)に対し、期初の想定からの乖離の程度を基に、3段階の管理水準を設定してモニタリングを実施しております。

##### (2) 流動性補完の確保

万一の市場混乱時にも資金調達に支障をきたさないよう、流動性補完として、米国債等の即時に資金化が可能な資産を保有し、その状況をモニタリングすることで、資金流動性維持のための調達手段を確保しております。

##### (3) 資金ギャップの管理

運用・調達期間のミスマッチから発生する、今後必要となる資金調達額に対して上限値を設定し、短期の資金調達への過度の依存を回避することで、適正な資金流動性の管理を行っております。上限値は、調達状況、資金繰り計画、外部環境、各国通貨の特性等を勘案し、各グループ会社及び各拠点に設定しているほか、必要に応じ通貨別に上限値を定める等きめ細かな管理を行っております。なお、上限値の遵守状況は日次でモニタリングしております。

##### (4) ストレステストの実施

ストレス時においても資金流出への対応が十分に可能な状態を確保すべく、預金流出や市場からの調達困難といった状況を想定したストレステストを各グループ会社にて定期的実施し、流動性リスク顕在化時に必要となる資金調達額を把握・管理しております。

##### (5) 流動性ストレス時の対応策

想定される状況(平常時・懸念時・危機時)と、その状況に応じた、資金ギャップに対する上限値の圧縮などの具体的なアクションプランを取りまとめたコンティンジェンシープランを各グループ会社にて策定しております。

### ■連結流動性カバレッジ比率に関する定性的開示事項

#### 1. 時系列における連結流動性カバレッジ比率の変動に関する事項

当社連結における平成27年度第3四半期及び第4四半期のLCRは、次頁の「連結流動性カバレッジ比率に関する定量的開示事項」に記載しておりますとおり、平成27年3月末の規制適用以降、大きく変動することなく安定的に推移しております。

#### 2. 連結流動性カバレッジ比率の水準の評価に関する事項

LCRの最低水準は、平成28年は70.0%に設定されており、以後段階的に10.0%ずつ引き上げられ、平成31年以降は100.0%となる旨が流動性カバレッジ比率告示に定められております(下表ご参照)。

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年以降
LCRの最低水準	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%	100.0%

当社連結のLCRは、平成28年の最低水準である70.0%及び平成31年以降の最低水準である100.0%をそれぞれ上回っており、特段の問題はないものと考えております。なお、今後のLCRの見通しが開示された比率と大きく乖離することは想定しておりません。また、LCRの実績値は当初の見通しと大きく異なってございません。

### 3.算入可能適格流動資産の合計額の内容に関する事項

当社連結の算入可能適格流動資産には、中央銀行への預け金、高格付の債券、現金等が含まれており、次頁の「連結流動性カバレッジ比率に関する定量的開示事項」に記載のとおり、純資金流出額を上回る額を保有しております。なお、算入可能適格流動資産の通貨又は種類等の構成や所在地に著しい変動はありません。また、主要な通貨(通貨建て負債合計額が当社の負債合計額の5.0%以上を占める通貨)において、算入可能適格流動資産の合計額と純資金流出額の間著しい通貨のミスマッチはありません。

### 4.その他連結流動性カバレッジ比率に関する事項

当社連結のLCRは、流動性カバレッジ比率告示第28条に定める「適格オペレーショナル預金に係る特例」及び同告示第37条に定める「シナリオ法による時価変動時所要追加担保額」を適用しておりません。また、同告示第59条に定める「その他契約に基づく資金流出額」には、「小規模連結子法人に係る資金流出額」等を計上しております。

### ■連結流動性カバレッジ比率に関する定量的開示事項

(単位：百万円、%、件)

項目		平成27年度第3四半期		平成27年度第4四半期	
適格流動資産(1)					
1	適格流動資産の合計額	48,621,338		49,664,698	
資金流出額(2)		資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額	資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額
2	リテール無担保資金調達に係る資金流出額	48,865,918	3,843,214	49,743,188	3,892,979
3	うち、安定預金の額	14,915,420	447,463	15,459,536	463,846
4	うち、準安定預金の額	33,950,498	3,395,751	34,283,652	3,429,132
5	ホールセール無担保資金調達に係る資金流出額	54,687,009	31,318,058	55,311,931	30,862,377
6	うち、適格オペレーショナル預金の額	—	—	—	—
7	うち、適格オペレーショナル預金及び負債性有価証券以外のホールセール無担保資金調達に係る資金の額	47,298,845	23,929,893	48,108,832	23,659,278
8	うち、負債性有価証券の額	7,388,165	7,388,165	7,203,099	7,203,099
9	有担保資金調達等に係る資金流出額		71,137		64,128
10	デリバティブ取引等、資金調達プログラム及び与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	20,510,320	6,848,060	20,118,571	6,911,940
11	うち、デリバティブ取引等に係る資金流出額	1,588,137	1,588,137	1,845,259	1,845,259
12	うち、資金調達プログラムに係る資金流出額	632,800	632,800	582,882	582,882
13	うち、与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	18,289,383	4,627,123	17,690,430	4,483,799
14	資金提供義務に基づく資金流出額等	8,008,212	5,286,320	8,969,609	5,828,019
15	偶発事象に係る資金流出額	64,204,284	919,477	65,635,893	917,321
16	資金流出合計額		48,286,266		48,476,765
資金流入額(3)		資金流入率を乗じる前の額	資金流入率を乗じた後の額	資金流入率を乗じる前の額	資金流入率を乗じた後の額
17	有担保資金運用等に係る資金流入額	4,018,112	221,480	4,900,450	262,466
18	貸付金等の回収に係る資金流入額	4,523,449	2,985,454	4,372,853	2,918,343
19	その他資金流入額	3,988,910	2,042,753	4,276,699	2,210,086
20	資金流入合計額	12,530,470	5,249,686	13,550,002	5,390,895
連結流動性カバレッジ比率(4)					
21	算入可能適格流動資産の合計額		48,621,338		49,664,698
22	純資金流出額		43,036,580		43,085,870
23	連結流動性カバレッジ比率		112.9%		115.2%
24	平均値計算用データ数		3件		3件

平成27年3月末の規制適用以降のデータは、三井住友フィナンシャルグループのホームページに掲載しております。

([http://www.smfg.co.jp/investor/financial/base1\\_3.html](http://www.smfg.co.jp/investor/financial/base1_3.html))